



## 人と自然・環境が調和するまちへ

豊かな自然環境は、現在、生活を営む私たちだけでなく、次世代を生きる子どもたちにとっても重要です。

市では、恵まれた自然環境を未来に継承するため、市民・事業者・行政が一体となり環境保護・保全に努めると同時に、環境への理解と関心を深め、環境と調和した自然豊かで持続可能なまちづくりを目指し、さまざまな施策を実施しています。

関連するSDGsのゴール



(注) 新型コロナウイルス感染症の影響などにより、中止となった事業もあります

## 「循環型社会」を目指して

環境への負荷を低減する「循環型社会」の実現が求められている中、市民のリサイクル意識の向上などにより、市のごみの排出量は減少傾向にあります。

さらにごみを減らすため、リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）の「3R」への取組を進めています。

特に、燃やすごみを減らす「雑がみ回収」や、生ごみの重量を減らす「生ごみの水切り」、「食品ロス削減」を、各世帯で取り組んでもらえるよう、さまざまな機会を通じて啓発を行っています。

また、環境負荷の少ない廃棄物処理を行うため、ごみの適正・効率的な処理（収集・運搬・中間処理・最終処分）を進めるとともに、北清掃センターの適正な維持管理を行っています。



## 体験しながら「環境」を学ぶ



環境保全には、生活の中での1人1人の取組と、その重要性を学ぶ機会が必要です。

市では、将来を担う子どもたちが、遊びや学習を通じて環境や自然に関心が持てるように、また、子どもを軸に家族が環境について考えるきっかけとなるように、「こども環境教室」や「親子環境教室」などを毎年開催し、環境教育の充実を図っています。